第12回人権フェスティバル

「益城町から人権の熱と光を」のテーマのもと、第12回「益城町人権フェスティバル」が、去る1月31日(土)、益城町文化会館で開催されました。

出演した児童生徒をはじめ、参加した町民が身近な人権について考え、人権尊重社会を実現することの大切さを共有しました。

ここに、ステージ発表と掲示発表の様子を紹介します。

ステージ発表

木山中学校2年生　演劇「命を見つめる」

人を支え、育んでくれる命。どんな状況でも精一杯生きようとする命。未来へつなぐ私たちの命。沖縄修学旅行で見聞きした命。知覧から飛び立った特攻隊員が辞世の句に詠んだ命。総合的な学習の時間に学び考えた様々な命のかたち。これらを劇に表し、命の尊さ、平和の尊さを訴えました。

津森小学校2年生　構成詩「大切な命、かけがえのない命」

日頃食している肉はどうやってできるのかに関心を持ち、熊本市食肉センターを見学し、「人間は、生きていくために他の生き物の命をいただいている」ことを学習しました。さらに、自分たちの命はどうやって始まったのかを、お母さんのおなかの中にいるときから今日までの自分を家族から聞き取り、伝え合ったことを構成詩にまとめ発表しました。

「みんなの命がここにあります。命を大切にします。仲間を大切にしていきます」と9名が手を取り合って宣言した姿が心に響きました。

袴野小・中学校　演劇「手紙～袴野中学校60周年のメッセージ～」

今年創立60周年を迎えた学校に寄せる地域の方の熱い思いや温かい心に触れ、ふるさとを大切にする心は人権を大切にする心につながることを知ります。

「たくさんの歴史と愛のつまった学校を守っていきたい。それが私たちの使命だから」という心に残るメッセージを発しました。

益城中央小学校5年生　群読・歌「水俣の学習を通して」

水俣病資料館で学んだ水俣病について歌や踊りを交えて発表しました。水俣病語り部の金子すみ子さんとの出会いを通して、水俣病は工場排水中のメチル水銀に汚染された魚介類を、そうとは知らずにたくさん食べたことによって発生した中毒症であること、水俣病の発生により人と人を引き裂く差別の現実があったことに気づいていきます。

「命を、心を、人間を大切にしていきます。」というメッセージとともにソーラン節の元気な踊りが感動的でした。

平田舞踊教室　舞踊「おてもやん」「千年の花」

曲に合った衣装と息の合った踊りがみごとでした。日頃の練習の成果を笑顔で披露していただき、会場の雰囲気がポカポカになりました。

人権擁護委員会「人権擁護委員の活動について」

「育てましょう。一人ひとりの人権意識と思いやりの心。そしてかけがえのない命を大切にしましょう。」

「人権と向き合うことは難しいことではありません。毎日の生活を見つめ直すことから人権について考えていきましょう」と訴えられました。

飯野小学校全校児童　劇・構成詩「森の宝物」

2年生が人権学習で学んだこと、「友だちのことを決めつけることや、相手によって分け隔てたりすることは間違っていることを学びました。いろんな友だちともっともっと話したり、遊んだり、けんかや仲直りもして、いっぱい友だちになりたいです」と力強く発表しました。そして全校児童が「いじめや差別に対して傍観者でなく自分からなくしていきます」と力強く締めくくりました。

益城中学校1年生　群読「教科書無償の闘い」

憲法26条に「義務教育は無償とする」の言葉があることに気づいた人々が「教科書を無償にしよう」という闘いを始めたことを発表しました。台本づくりや練習の中で気づいた、「私は正しいことを学んでいくことの大切さを知りました。知らないことで、誤解や偏見が生まれます」「私は仲間とつながることの大切さを感じました」「つらいとき、苦しいときにともに励まし合い、本音を語り合える友が本当の仲間であること、そうした仲間を私も作っていきたいと思います」などを自らの言葉で語りかける姿はとても説得力がありました。

広安小学校4年生　劇「なして祭りがいっしょにできんとか」

6年生　構成詩「平和のとりで」

4年生は、明治時代に、夏祭り参加を拒まれる差別を受けてきた人たちが再び祭りに参加するまでの運動を劇にしました。自分たちで作った台本をもとに、小道具作りなど舞台には出ない裏方の協力も得て、熱の入った劇を披露しました。差別をなくしたいという強い思いが子どもたちの全身から伝わってくるすばらしい演技に参加者の心が揺り動かされました。

6年生は長崎への修学旅行で学習した平和の大切さをもとに、原爆ドームが世界遺産に登録されるまでの人々の願いを学習し、今自分に何ができるかを真剣に考え、いじめや差別を見逃さず、許さず、なくしていきたいと全員で力強く訴えました。

広安西小学校4年生　構成詩・歌「本当のことでつながろう」

それぞれの学級で目標を立て力を入れてきたこと、「こそこそ話をするのでなく本当のことを言い合う仲間になりたい」、「クラスのみんながお互いのことを思いやれる仲間を作っていきたい」、「相手の気持ちを考えて行動し本当のことでつながっていく仲間を作っていきたい」と学級の歩みとともに発表しました。

身近なできごとから人権について学習したことを生活の中で行動に移していこうという強い思いが伝わってきました。

展示コーナーでは、多くのすばらしい作品に触れることができました。子どもたちの明るく伸びやかな作品、「人権尊重」などと書かれた毛筆習字、「偏見や差別をなくしていくためにまず自らが努力する生き方を今日から始めようではありませんか」などのペン習字もありました。

人権についての意識を高めることのできた一日でした。

これを機会に益城町から人権の熱と光を広めていきましょう。

益城町　みんなの笑顔で光ってる（町内小中学生人権標語集より）

益城町教育委員会